

梓書院 新刊のお知らせ

家族

四六判・並製・238頁・1,500円+税 2月12日発売



《目次》 家族
 野辺送りは晴れた日に
 島の秋
 ベレー帽
 春日
 日の丸は輝いていた
 太陽へ散華

「文学」と向き合い、一途な
 創作により生まれた7つの短編

「家族」を舞台に、物語が語られる

「家族はそれぞれの形・在り方が異なっている。同じものなど存在しないかもしれない」

昭和を生きて、著者自身の青年期の葛藤や、老いた両親、兄弟ら家族との確執をつぶさに見つめながら、その心情をユーモアを交えて紡ぎだす。

【著者】：麻生 義剛（あそう・よしたけ）

1934年、佐賀県唐津市生まれ。明治大学文学部卒業後、東京で就職。

3年後に帰郷、福岡で衣類販売業を営むようになる。大学時代から文芸雑誌づくりのメンバーとして活動していた文学愛好家。当時の文学へ対する情熱が捨てきれず、同人誌の創刊を思い立ち、数年後地元で一人だけの同人雑誌『独歩』を創刊。4号まで発行。

その中の一部、夏目漱石の代表作『吾輩は猫である』をもじった『鷹作 吾輩は猫である』を48歳の時に出版し話題となる。

その後も仕事の傍ら、地道な創作活動を行なう。

2021年2月初旬搬入予定

梓書院 (貴店番線)	注文	ご担当	ISBN 978-4-87035-709-9 C0093
	冊	様	家族
			定価：1,650円 (本体価格：1,500円+税)
	麻生義剛・著		福岡市博多区千代 3-2-1 (tel)092-643-7075

日販
 トーハン
 楽天
 きんぶん図書
 にてお取り扱い
 致しております。